

CSR報告書 2019



サステナビリティ経営に向けて

新東工業は、1934年の創業以来、「ものづくりの心を大切に、社会に貢献したい」という思いのもと、世界に通用する技術を追求する歴史を歩んでまいりました。

社会の潮流をとらえ、社会に求められる技術を通じ、皆さまの暮らしを支える新東工業の精神は、現在にも受け継がれています。

これからも、新東工業の原点である培われた技術と信頼を大切にしながら、

未来に向けて挑戦し続けていくことで、

すべてのステークホルダーの皆さまと絆を深め、新たな価値を提供し続けてまいります。

SDGs(持続可能な開発目標)

2015年9月に、ニューヨーク国連本部において、「国連持続可能な開発サミット」が開催され、人間、地球および繁栄のための行動計画として、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。

このアジェンダでは、2030年までに貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的社会など、持続可能な開発のための17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標(SDGs)」が掲げられています。

新東工業グループにおいても、SDGsに配慮した事業や活動を展開し、社会課題の解決に取り組んでいきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標





グローバルで、安全と品質を実現させる



技能安全研修センターの開所式



中国鑄造協会と活用に関する協議書を締結



粉じん爆発を体感し、安全意識を高める現地の社員

2019年3月に、青島新東機械有限公司の敷地内に、技能安全研修センターを開所しました。

技能安全研修センターとは、「安全はすべてに優先する」という当社の強い信念を体現した施設で、過去に発生した災害事例などを参考に、「二度と同じ事故を起こさない」「現場作業に潜む危険を予知し、事故を未然に防ぐ」という2つを目的とした「安全体感研修」や社内技能の伝承などを行う施設です。

グローバルでものづくりが進展する中、中国においても「安全」と「品質」に対する思いを、これまで以上のレベルで共有したいとの考えに基づき、安全文化の醸成をはかっていきます。



誰もが、自由な移動を可能に



順位ごとの高さまで上昇する「昇降式表彰台」

当社のグループ会社、株式会社メイキコウ（愛知県豊明市）では、工場内の搬送で使用されるコンベヤおよび昇降装置（シザーリフト）等の製造を行っており、その技術を応用し、車いす用段差解消機の製造も行っています。

そして現在、新たに、車いす競技の表彰式で、アスリートがメダルを授与される際に順位ごとの高さまで上昇させる「昇降式表彰台」や、三菱ふそうトラック・バス株式会社製の車いすのままでも乗降可能な「エレベーター付リムジンバス」に搭載されている昇降装置を製造し、提供しています。同社では長年、産業界で培ってきた昇降の技術を用いて、誰もが自由に移動できる社会の実現に向けて取り組んでいます。



将来の人手不足の解消に貢献



介護施設向け見守りロボット「くるみ」

人手不足や過重労働が深刻な介護業界において、介護職員を支援する見守りロボットを開発しています。

介護施設向け見守りロボット「くるみ」は、介護施設の中を自動巡回し、徘徊者や倒れた高齢者を発見したら、介護職員に連絡する機能を持ったロボットです。

介護サービスの質を向上させ、高齢者の生きる力を引き出す見守りロボットの実用化に向けて、開発を進めています。

トップメッセージ



自動車業界が100年に一度の大変革期を迎えていると言われてるように、現在、さまざまな業界において、猛烈なスピードで変化が進みつつあり、私たちも従来の延長線上に未来はないと危機感をもっています。このような時代を勝ち抜いていくためには、まずは私たち自身の競争力を磨き続けなければならないと考えています。そして、未来に向け、変えてはいけない当社の原点を大切にしながら、臆することなく、新たな分野へも果敢にチャレンジしています。

2年目を迎えた中期経営計画「CONNECTING TO THE FUTURE」では、創立100周年を迎える2034年に向け、事業構造の変革に取り組んでいます。お客さまやお取引先さま、地域社会、株主・投資家の皆さま、社員など、すべてのステークホルダーの皆さまとの絆を大切にするとともに、長年当社で培われた技術と信頼をもとに、自分たちの手で新たな未来を切り拓き、選ばれ続ける企業を目指しています。

こうした将来にわたる成長を実現するためのキーワードのひとつが、持続可能性の追求です。近年、持続可能な社会の実現に向け、その機運がますます高まっています。2015年には国連において、国際社会の共通目標となるSDGs(持続可

能な開発目標)が採択され、企業も取り組みを始めています。グローバルに事業展開を進めている当社においても、国際社会の一員として、その責務をしっかりと果たさなければと考えております。

当社は、1934年の創業以来、誠実な経営を真摯に、愚直に進めてまいりました。例えば、まだ「公害」という言葉さえなかった頃から、当社は、「花にも優しいモノづくり」という言葉に環境保護への思いを込めた企業広告を出し、事業を展開してまいりました。

これからも、地域に根ざした企業を目指し、日本のみならず世界各地にあるそれぞれの拠点のお客さまや地域の皆さまから信頼いただけるよう、SDGsの観点を意識した経営に取り組んでまいります。

私たちは今も、そして、これからも、企業価値の向上に挑戦し続けていきます。

取締役社長
永井 淳

新東工業グループのCSR



"Sinto Beliefs"

新東工業グループは、「HEART」を経営理念として掲げ、ものづくりの新たな価値を創造し、世界のお客さまとともに成果と喜びを分かち合うことを新東工業の使命とし、「技術の差別化」と「信頼のサポート」により関係するすべての人との絆を深め、新しい提案、新しい解決策を提供し続けることでSintoブランドを高めることを目指します。そして、この思いを表した「Sinto Beliefs」を制定し、浸透をはかっています。



新東工業グループのCSR

こうした基本方針のもと、新東工業グループはCSRを「企業の成長を通じた、社会の持続的な発展への貢献」ととらえ、社会との絆を深めるための活動であると考えています。ステークホルダーの皆さまから信頼され、そして、さらに期待していただけるよう、すべての事業活動を通じて、長期ビジョンである「世界のお客さまと感動の共創」の実現を目指し、企業としての社会的責任をこれからも果たしていきます。

中期経営計画「CONNECTING TO THE FUTURE」



新東工業グループでは、2018年4月から2021年3月までの3カ年にわたる中期経営計画「CONNECTING TO THE FUTURE」に取り組んでいます。

この計画では、「新しい事業価値の提案」「新技術へのチャレンジ」「お客さまに選ばれ続ける」という3つの方向性を掲げています。

環境とともに

～低炭素社会の構築に、ものづくりと商品で貢献する～



新東工業グループの全員が 「エコ意識」をもって、活動をはじめています。

当社創立100周年に向けて「環境経営」の方針を策定いたしました。

低炭素社会の実現を目指して、CO₂の排出量を削減するために、

「エコプロダクツ・サービス」「エコファクトリー」「エコロジスティクス」の

3つの活動に取り組んでいます。

これらの活動を推進するために最も大切なことは、

身近でできることからひとつずつ、着実に取り組んでいく社員一人ひとりの「エコ意識」です。

全世界の社員一人ひとりが心をひとつに、ものづくりや商品開発、販売といった

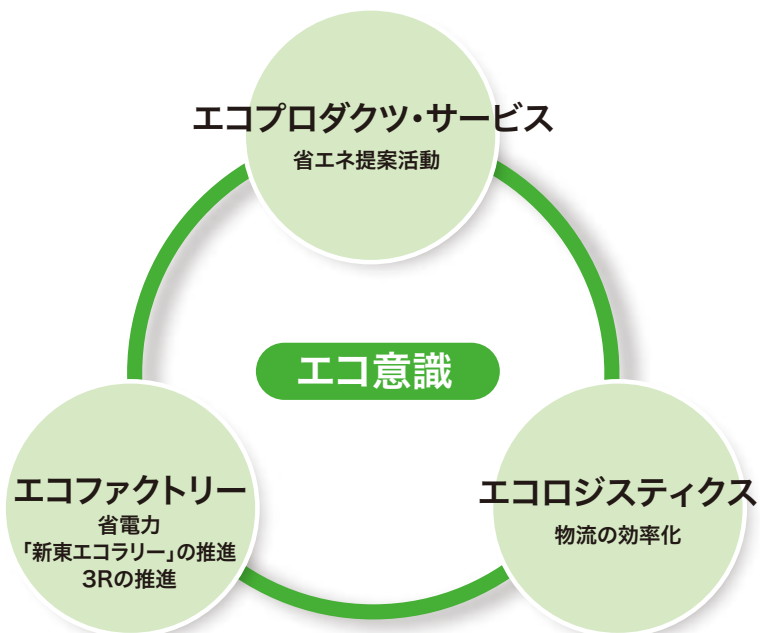
それぞれの持ち場でこれまで以上に積極的に活動し、

「環境経営」に新東工業グループをあげて取り組んでまいります。

そして、“子供たちの輝く未来のために”、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



「環境経営」の進め方

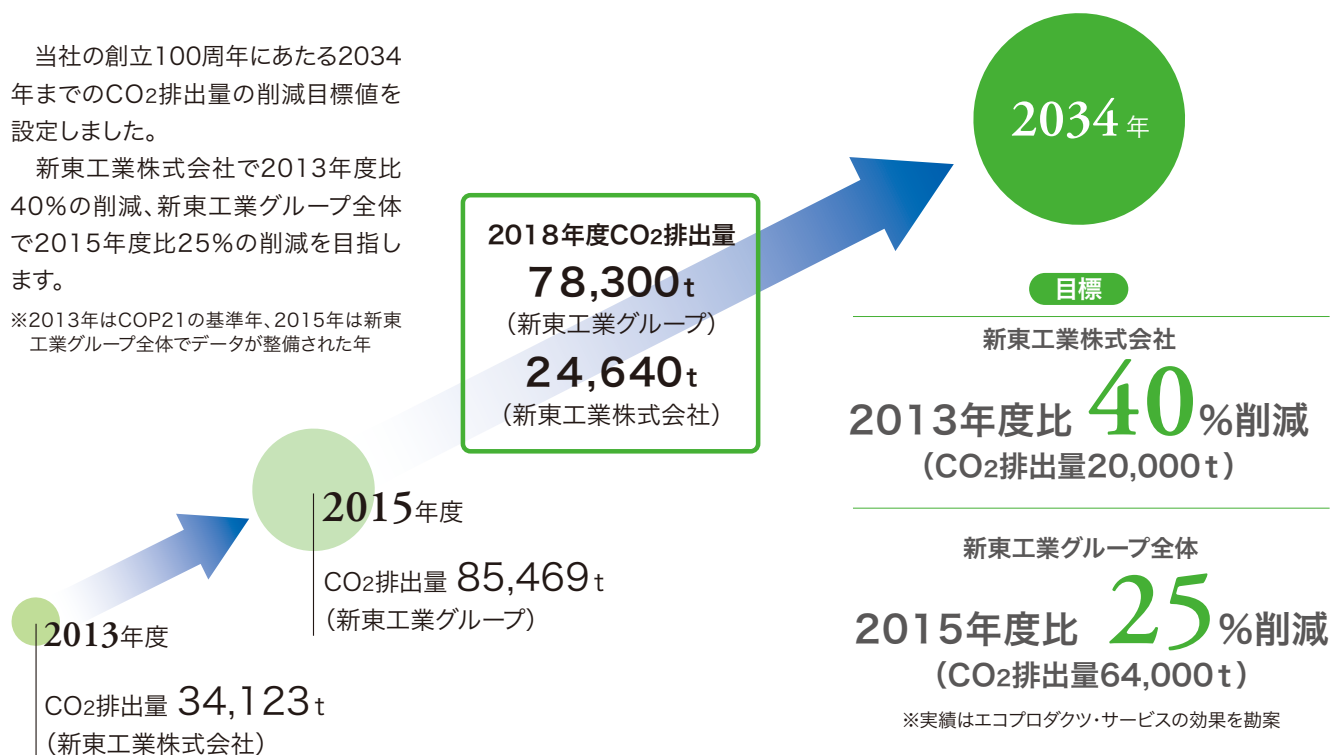


創立100周年に向けたCO₂削減計画を策定

当社の創立100周年にあたる2034年までのCO₂排出量の削減目標値を設定しました。

新東工業株式会社で2013年度比40%の削減、新東工業グループ全体で2015年度比25%の削減を目指します。

※2013年はCOP21の基準年、2015年は新東工業グループ全体でデータが整備された年



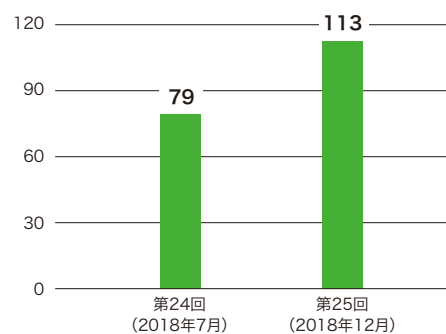
「エコ意識」の向上

当社では、社員一人ひとりのエコ意識を高める活動に取り組んでいます。その中で、最も力を入れている活動が、東京商工会議所主催の「環境社会検定試験 (eco検定)」を、社員が取得するための支援です。過去に合格した社員が講師となり、自主的な社内勉強会を開催し、2018年までに、合計192名の「エコピープル (eco検定合格者)」が誕生しました (2018年度の企業別受験者数ランキング5位)。eco検定の取得に向けた勉強を通じて、複雑・多様化する環境問題を幅広く体系的に身につけることができ、エコ意識の向上につながっています。今後は、エコピープルを中心としたワークショップを開催する等、活躍の場を広げていきます。



eco検定の取得に向けた勉強会

eco検定 合格者



エコプロダクツ・サービス

環境に配慮した商品・サービスを提案して、
お客さまのものづくりにおけるCO₂排出量の削減に貢献していきます。

2018年度 削減効果

12,013t

新たな環境配慮商品の創出

新型の乾式バレル研磨機、砂混練機、ヒューム用集塵機、電気特性テストなどを新たに市場投入し、お客さまのものづくりの省資源、省エネルギー、CO₂排出量削減を実現する提案を進めています。今般、新たに開発した「発泡中子造型プロセスLYTECORE®」は、より複雑形状の鋳物の実現、後処理工程の短縮のほか、省資源・省エネルギーにも大きく貢献したとして、「第34回 素形材産業技術賞 経済産業大臣賞」を受賞しました。



発泡中子造型プロセスLYTECORE®

サーボシリンダ

省エネルギー・作業環境の改善・トータルコストダウンに貢献するサーボシリンダが、高精度化・高速化などのお客さまニーズに応えながら、販売累計1万台を達成しました。1987年に鋳造プラント向けに1号機を納入して以来、これまで累計で約10万トンのCO₂排出量削減に貢献しています。今後もお客さまのものづくりの品質向上と不良低減とともに、環境に優しい提案を進めていきます。

サーボシリンダ販売台数

累計10,000台達成



サーボシリンダ CYAP-CA



エコファクトリー

社員一人ひとりが工夫して、身近なところから省エネ活動に取り組んでいます。

当社では、社員自らが考えたCO₂排出量の削減につながるアイデアや工夫などの提案を積極的に取り入れています。照明のLED化やOA機器の省エネモード設定、緑のカーテンなど、2018年度は53件の提案があり、年間80トンのCO₂排出量の削減につながりました。身近な活動を好事例としてまとめ、全事業所に展開し、横断的に共有しています。

また、この取り組みは国内外のグループ会社にも広がっています。ロバーツ・シントー社（アメリカ）では、工場内の照明を最新のものに交換することで、照明数を25%減らすことができ、使用エネルギーを大幅に削減しました。

こういった身近な環境に配慮した活動を継続的にを行い、さらなるCO₂排出量削減を目指します。



照明のLED化



OA機器を省エネモードに設定



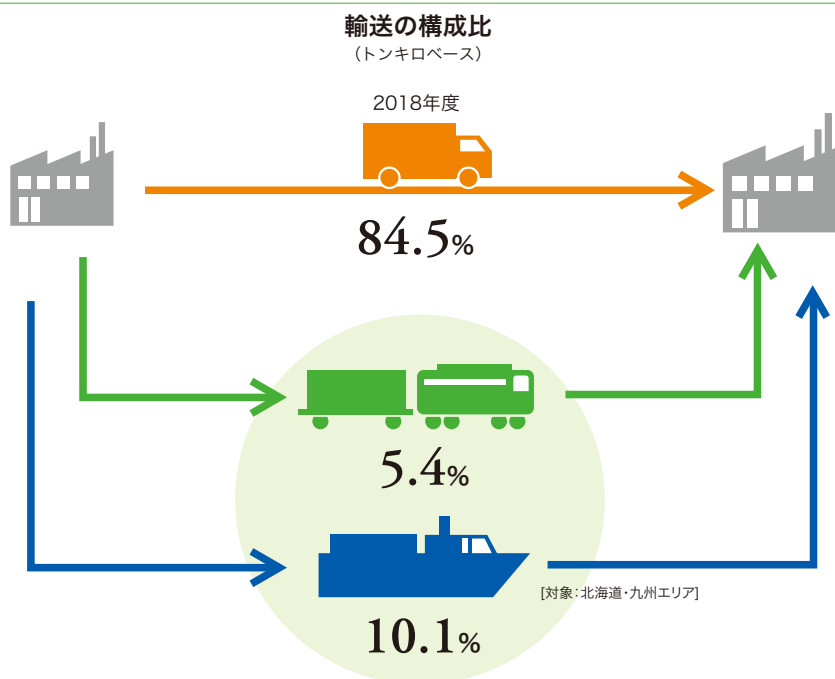
見直した工場内の照明（ロバーツ・シントー社）



各事業所で取り組んでいる緑のカーテン

エコロジスティクス

投射材の輸送をトラックよりも環境への負荷が少ない鉄道や船に転換し、CO₂の排出量を削減しています。



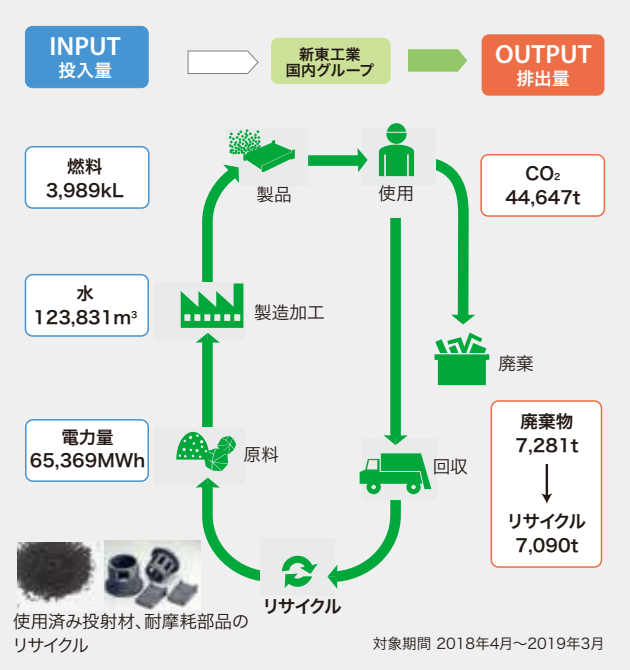
当社は、2017年に「エコシップマーク」の認定を受けており、消耗材の輸送をトラックよりも環境への負荷が少ない船に切り替える等、輸送時のCO₂排出量削減に取り組んでいます。

鉄道への切り替えを合わせて検討しながら、2018年度は、2017年度と比較して、対象商品の売上高原単位で、2.7%のCO₂排出量削減となりました。

今後はさらに切り替えの対象範囲を広げる等、取り組みを進めてまいります。

事業活動における全体像

新東工業グループでは、国内全事業所で、事業活動に用いるエネルギーや資源のインプット（投入量）とアウトプット（排出量）を把握することで、ムダなエネルギーの使用がないかを確認する指標とし、削減に努めています。



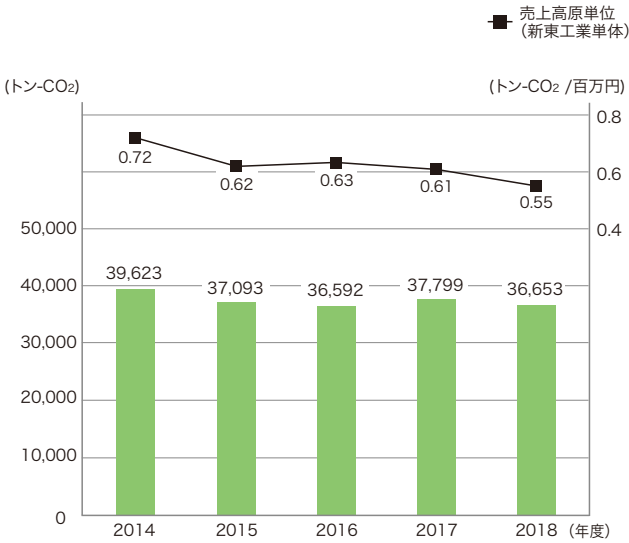
環境コスト

集計範囲：新東工業株式会社
対象期間：2018年4月～2019年3月

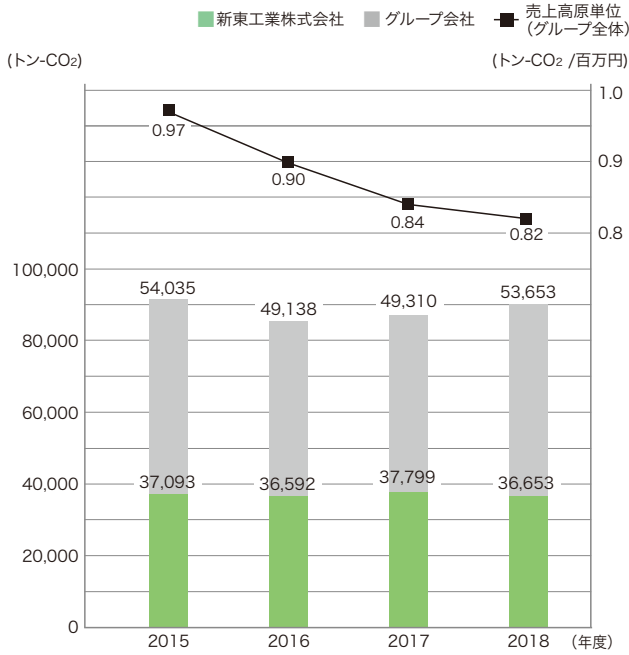
分類	金額
環境損失	0
維持コスト	34,999
環境投資	1,017
合計	36,016

※環境省「環境会計ガイドライン」に準拠し算出しています。

新東工業 CO2排出量の推移



新東工業・グループ会社 CO2排出量の推移



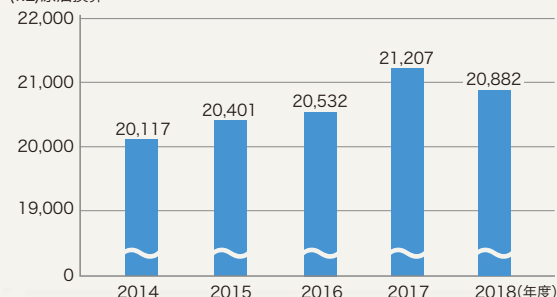
環境に関するデータの推移

INPUT

[対象範囲] 新東工業株式会社および国内グループ会社

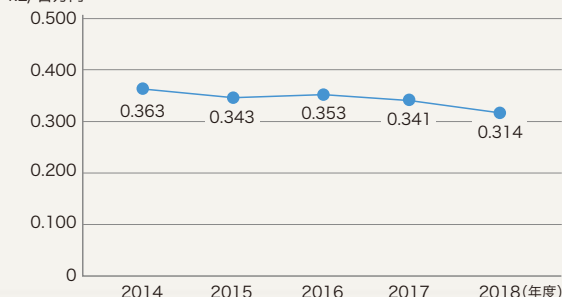
●生産・オフィスに関わるエネルギー使用量の推移

(kL)原油換算



●生産・オフィスに関わるエネルギー使用原単位の推移

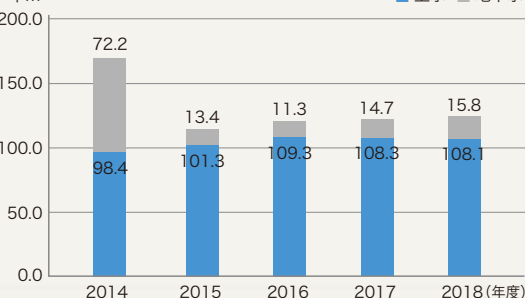
kL/百万円



2017年度に電力量の見える化を実現。施策に対する効果が見えるようにしました。
環境推進会メンバーによる啓蒙活動や定期的なパトロールを進めています。

●給水量の推移

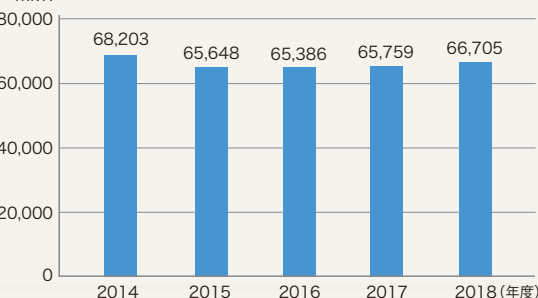
千m³



配管経路を見直し大幅な削減が実現した後は、
各箇所での啓蒙を進めムダの削減に努めています。

●電力使用量の推移

MkW



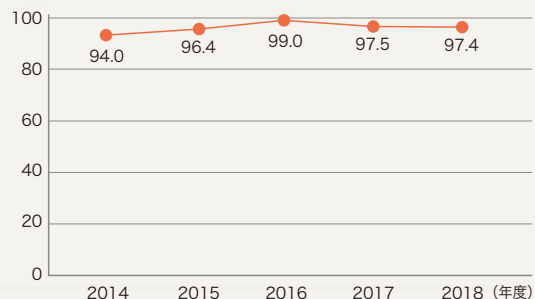
電力量の見える化を実現。
社員の工夫に対する効果が見えるようになりました。

OUTPUT

[対象範囲] 新東工業株式会社および国内グループ会社

●廃棄物全体のリサイクル率の推移

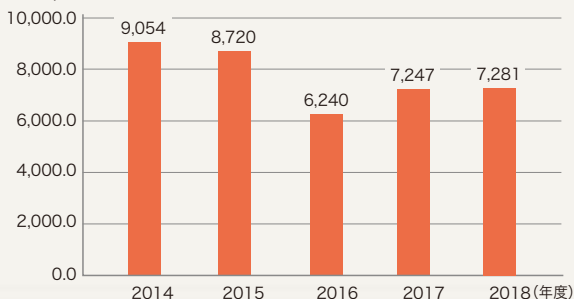
%



廃棄物の分別を順守すべく、環境推進会メンバーによる啓蒙活動や定期的なパトロールを進めています。

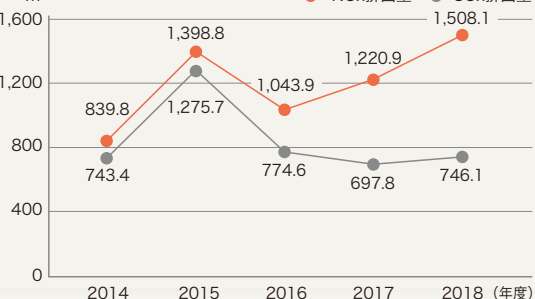
●廃棄物排出量の推移

トン



●NOxおよびSOx排出量(豊川製作所)

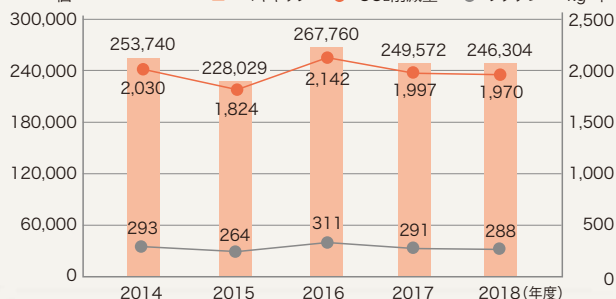
m³



対象設備の日常点検、異常時の訓練などに取り組み、
排出抑制に努めています。

●エコキャップ回収数の推移

個



専用のボックスを設けるなど、
分別に対する意識向上に努めています。

社会とともに

～世界の各地でステークホルダーに寄り添う～



膠州市政府へ車いす用段差解消機を寄贈

当社は、青島新東機械有限公司(中国)の所在地である膠州市政府へ、当社グループ会社で製造している車いす用段差解消機5台を寄贈し、2019年3月に、寄贈を記念したセレモニーを行いました。

これは、現在、衛生医療や介護等を管掌している膠州市政府高燕副市长が当社を訪問したことがきっかけとなったもので、膠州市の総合病院やリハビリ専門病院で活躍しています。



車いす用段差解消機の動作を確認する膠州市政府 高燕副市长(左から3人目)

地元の幼稚園にジャングルジムを寄贈

ハインリッヒ・ワグナー・シントー社(ドイツ)は、長年、地域との交流を目的に、さまざまな形で、地元の子供たちへの支援を続けています。

2018年は、地元の幼稚園の運動場に、新しいジャングルジムを寄贈しました。屋外に新たな遊具が増え、子供たちの健全な発育に貢献しています。



寄贈したジャングルジムと幼稚園の子供たち



地域の公園で、ごみ拾い活動

新東工業商貿(昆山)有限公司(中国)は、2018年11月に江蘇省昆山市内にある昆山時代公園で、ごみ拾いのボランティア活動を行いました。

この活動は、自分たちが働いている町を、もっときれいにすることに貢献したいという、社員の思いがきっかけで始まり、今回で2回目となりました。



ごみ拾い活動に参加した新東工業商貿(昆山)有限公司の社員たち

地元の高校生に手書き製図を指導

新東エンジニアリング株式会社は、愛知県の工業高校の生徒を対象とした地域ものづくりスキルアップ講座「クラフトマンⅢ」を昨年に続き、行いました。これは、愛知県教育委員会からの依頼に基づく活動で、より実践的な技術・技能を習得することを目標として、今後の地域産業界を担う意欲をもった生徒を育成する取り組みです。

2018年8月から2週間、地元の工業高校の生徒6名を受け入れました。手書きでの機械製図を中心に、2D-CADおよび3D-CADの作成・操作の指導等を行いました。



手書き製図の指導を受ける工業高校の生徒たち

「新東いものキャンパス®」を開催

私たちの暮らしの中で多くの鋳物製品が活用されていることを伝えるとともに、ものづくりの楽しさを体感してもらうことを目的に、毎年さまざまなイベントで鋳物づくりの体験ができる「新東いものキャンパス®」を開催しています。

2018年度は、名古屋商工会議所が2020年に向けて取り組んでいる「モノ+ガタリ」プロジェクトに参画し、愛知県内の小学校で「新東いものキャンパス®」の出前授業を行いました。

その他にも名古屋市科学館等のイベントにも参加し、合計で8回の「新東いものキャンパス®」を開催しました。



名古屋商工会議所「モノ+ガタリ」プロジェクトで鋳物づくりを学ぶ子供たち

「花いっぱい運動」に参加

当社・幸田事業所(愛知県幸田町)では、毎年近隣の企業と一緒に、幸田町主催の町の緑化活動「花いっぱい運動」に参加しています。この活動は、2004年から始まり、社員の有志が参加しています。近くの道路沿いに、スイセンの球根を植え、地域の景観美化に取り組んでいます。



「花いっぱい運動」に参加する社員

お客さま



安全な製品の提供

当社は、「故障なく、使いやすい機械」を提供することを目的とした取り組みとして、すべての技術者を対象に、技術スキル向上と固有技術の伝承を目的とした教育を実施しています。

また、「二度と同じ不具合を起こさない」をスローガンに、発生した不具合に対しては徹底的な「なぜなぜ分析」による真因追究を実施し、再発防止に努めています。

お客さまの近くで支える

当社は、お客さまの“お困りごと”を、よりスピーディに解決するための整備を行っています。これまで愛知県のみであった表面処理の加工拠点を、2019年4月に神奈川県横浜市にも開設しました。この拠点には、製品を非破壊で検査できる表面評価技術を組み込んだ装置と遠隔データ監視システムを導入し、愛知県の技術拠点とリアルタイムに連携することができ、シミュレーション検証や最適な加工条件に基づく試作加工を提供しています。



「横浜加工センター」にある表面評価技術を組み込んだ装置

お客さまに安心をお届けするために

当社は、「お客さまの設備を止めない」ことを目指し、予防保全や事後保全による「SINTO SUPPORT SYSTEM™」を提案しています。生産中の機械トラブルなど、緊急時の応急処置や復旧手段の設備を知り尽くしたエンジニアによるサポートプログラムiAssist®があります。突然の機械トラブル時には、サポートセンターに常駐しているエンジニアが遠隔にて早期復旧を支援し設備の安定稼働をサポートします。

※「SINTO SUPPORT SYSTEM™」は当社のお客さまサポートの総称です。



サポートセンター

サポートプログラム iAssist® 契約数

2018年度

62社

ビジネスパートナー



お取引先の皆さまへCSR活動を展開

当社の重要なビジネスパートナーとして、多くのお取引先の皆さまと意思を共有しながら、ものづくりに取り組んでいます。定期的に情報交換会を開催し、「公平・公正な取引」「法令順守」「安全・品質・環境」について、考え方の普及と理解に努めています。

2018年度は、一部のお取引先の環境に対する取り組みをまとめた「環境レポート」を、お取引先の会「新睦会」の会員会社へ展開し、当社が目指す環境経営の実現に向け、ともに取り組んでいます。



お取引先の会「新睦会」での情報交換会

社員



「健康経営」の推進

当社は、人材こそ企業にとっての最大の財産であり、その成長と活躍が企業全体の発展につながると考えています。このような「活人主義」の考えのもと、人間性を尊重し、社員が心身ともに健康で、一人ひとりが輝きある人材として自身の役割を最大限に発揮できる会社を目指しています。そして、社員がより働きやすい職場環境づくりのため、健康保持・増進、ワークライフバランスの実現に向けたさまざまな施策を展開し、健康経営の推進に取り組んでいます。

3年連続認定



社員の健康づくりをサポート

社員の生活習慣病予防の支援施策のひとつとして、健康保険組合連合会愛知連合会が主催する「けんぽれんあいち健康ウォーク」に参加しています。社員とその家族に、ウォーキングなどの運動による健康習慣づくりの機会を提供するとともに、社員や家族同士のコミュニケーションを活性化することにもつながっています。



「けんぽれんあいち健康ウォーク」の参加者

「けんぽれんあいち健康ウォーク」参加者数

2018年度

430名

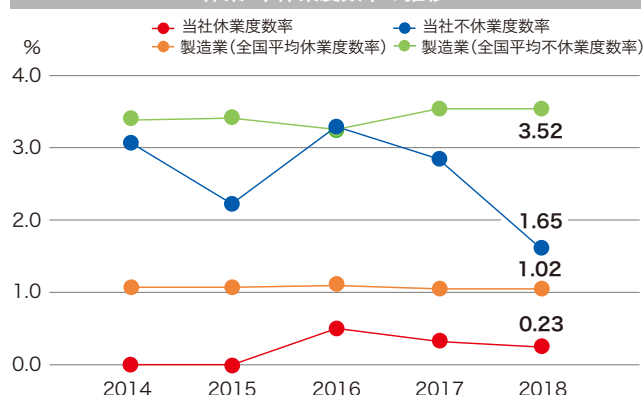
安全に向けた「人づくり」「場づくり」

当社では、「OSHMS（労働安全衛生マネジメントシステム）」を全国7事業所にて認証取得しています。その結果、自主的に安全活動ができる職場環境が定着しています。

「人づくり」として、技能安全研修センターでの体感を通じた危険予知能力の向上や、安全衛生管理に関する教育の場を多く設け、次世代を担う人材育成にも力を入れています。

また、「場づくり」として、リスクアセスメントを中心に職場に潜むリスクを洗い出し、低減・管理を行い正しくリスクと向き合うことで、職場環境づくりにも力を入れています。

休業・不休業度数率の推移



声掛けによる安全文化の醸成

当社では、お互い声を掛け合う安全文化を大事にしています。各連休工事前には工事関係者に対し安全大会および、激励会を開催し、全員が「笑顔でただいま」と言えるようにと、無事故・無災害への強い思いをトップ自ら伝えています。

また、従来の指摘重視の安全パトロールから、声を掛け合い、褒める安全パトロールへ進化させています。このような、声を掛け合う取り組みを通じ、「新東工業らしさ」を伴った安全文化の醸成を目指します。



2018年8月 連休工事前安全大会・激励会

コーポレート・ガバナンス

～グローバルベースでのガバナンス体制の向上～

グローバルで、信頼の経営を

経営の透明性を高め、経営環境の変化に柔軟かつ迅速に対応できる組織体制を整備するとともに、

グループ全体でコンプライアンス体制を構築することが必要と考えております。

海外グループ会社を含むすべての社員に向け、大切にしていきたい思い、考えをまとめた「Sinto Beliefs」を制定し、企業倫理行動指針、安全方針、環境方針および品質方針を共有しています。

特に、海外グループ会社とは、各社のトップが参加する「Sinto International Conference」を開催し、

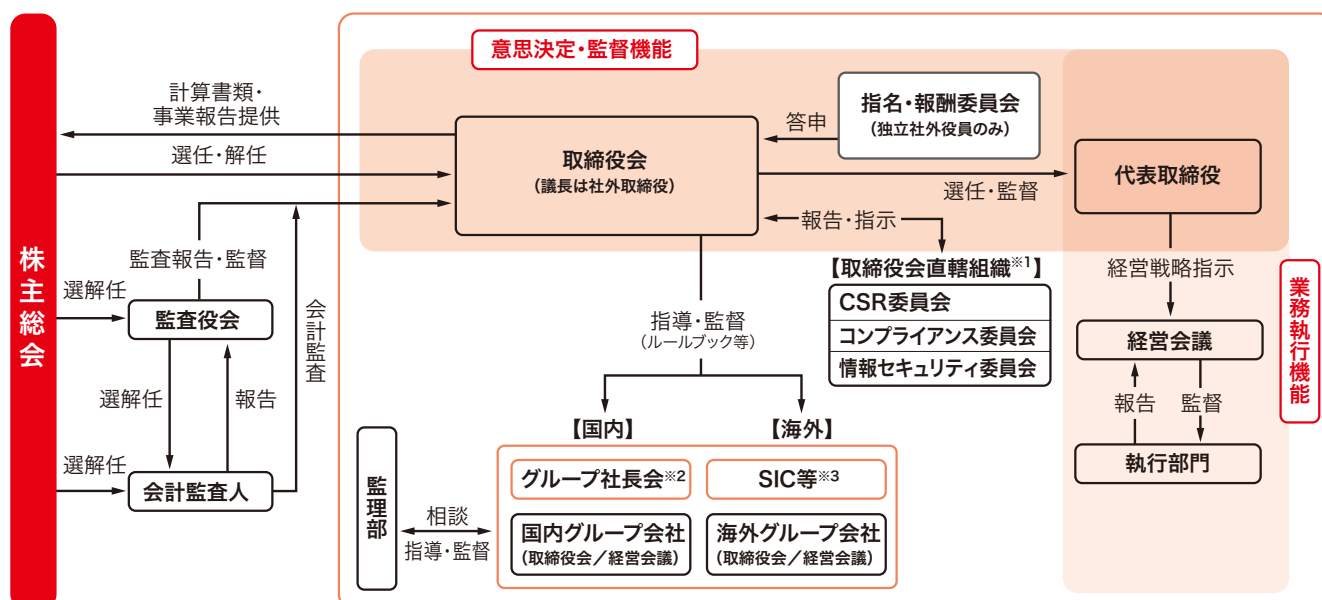
グループ経営方針の周知徹底をはかるとともに、リスクマネジメントの状況やCSR活動等について確認を行っています。

加えて、業績の向上に努め、資本市場をはじめとするステークホルダーの皆さまへの自発的、積極的な情報開示を行うことにより、信頼に足り、期待にお応えできるよう企業の社会的責任を果たしてまいります。



2018年度「Sinto International Conference」

コーポレート・ガバナンス体制



※1 取締役を主要メンバーとし、CSRに関する課題の抽出、対応方針の策定、実施状況のフォローなどを行う。

※2 主要な国内グループ会社のトップが一堂に会し、法令順守の状況、各種ルールの改正、国内グループ会社に適用される「ルールブック」の更新、CSR関連の重点項目やその実施状況の確認を行う。開催頻度は年4回。

※3 Sinto International Conferenceの略。

主要な海外グループ会社のトップが一堂に会し、事業運営上の課題を議論・検討するほか、海外グループ会社に適用される「ルールブック」の更新、各種リスクへの対応やCSR活動の状況等を確認する。開催頻度は年1～2回。

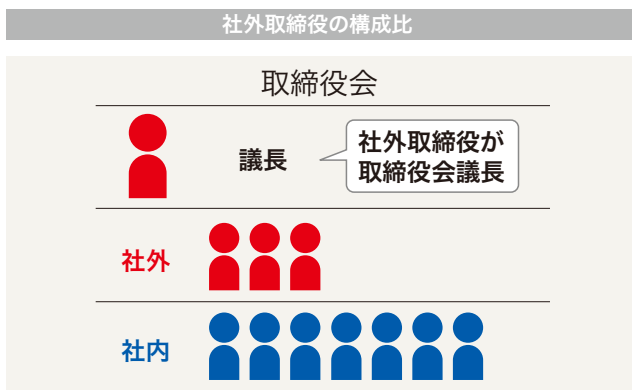


取締役会

当社の取締役会は、11名の取締役で構成されています。取締役の選任基準は、取締役会で決議され、指名・報酬委員会にて実際の候補が選任されるプロセスです。11名のうち、4名は社外取締役で、全体の1/3を超えています(2019年6月現在)。いずれも、会社経営に関する豊富な経験や高い見識を有し、取締役会における意思決定や経営の監督に的確な助言を行い、取締役会の実効性向上に貢献しています。

2018年度の実効性向上のため、社外役員へは、事前に資料を配付し、内容説明を行っています。

2017年6月からは、社外取締役が取締役会長として取締役会の議長も務めており、経営監督の機能をさらに高めています。



内部統制

当社では、「内部統制システムに関する基本方針」を定め、新東工業グループ全体の業務の適正性を確保するための体制を整備しています。

コンプライアンス・ガバナンスに関するテーマのみを手掛ける組織として「コンプライアンス委員会」(委員長は代表取締役、委員は取締役全員)を独立組織とし、取り組みの深化をはかっています。

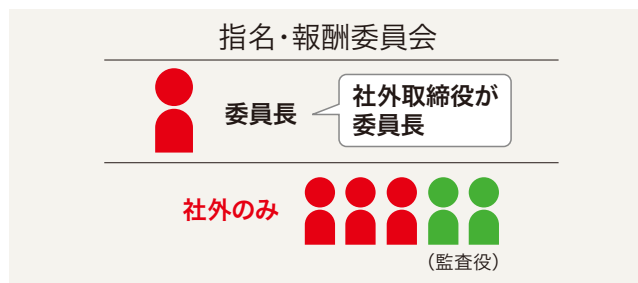
また、金融商品取引法に基づく、「内部統制報告制度」により、内部統制の整備や運用が適切に実施されているかを、監査部門が定期的に監査し、その後、監査法人の評価を得て、金融庁へ事業年度ごとに内部統制報告書を提出しています。

指名・報酬委員会

当社では、取締役・監査役候補の選任と報酬制度の検討等を行うために、任意の組織として指名・報酬委員会を設置しています。同委員会は、社外役員のみで構成しています(社外取締役4名、社外監査役2名 計6名、2019年6月現在)。

2018年度の指名・報酬委員会は、計2回開催し、独立性・客観性の高い審議が行われ、取締役の執行・経営監督の状況の評価が行われたほか、取締役が適切なリスクテイクを行ううえで必要な中期インセンティブ(株式報酬制度)等に関する方針を定め、取締役会に答申いたしました。

指名・報酬委員会メンバーの社外役員比率



国内グループ会社のガバナンス強化

当社では、国内グループ会社のガバナンス強化の取り組みとして、当社から派遣している取締役・監査役を対象とした勉強会を開催しています。

取締役・監査役に求められる義務と責任、関連法令に関する知識の説明のほか、グループ経営を推進するにあたり、「信頼の経営」でつながれたネットワークを強化するために、果たすべき役割について理解の浸透と徹底をはかっています。



当社から派遣している取締役・監査役への勉強会

適切な情報開示とIR活動

当社は国内外の投資家の皆さまとの「対話」を重視し、企業経営と事業活動に関する情報の当社IRサイトへの掲載や、半期決算ごとのアナリスト・機関投資家向けの説明会の実施等を通じ、迅速かつ正確な情報開示に努めています。

さらに、株主・投資家の皆さまだけでなく、広く情報を開示するため、当社ホームページなどを通じて、企業経営や事業活動についての情報を積極的に開示しています。

具体的な活動といたしましては、2018年度も個人投資家向け投資フェアに参加し、Face to Faceで当社の魅力をアピールしたほか、定期的に株主アンケートを実施し、貴重なご意見・ご要望をお聞かせいただいています。

これらを通じていただきました皆さまのお声をもとに、当社としては初めて、東京・大阪・名古屋において、個人の株主さま向け説明会をご案内したところ、総勢7百余名の方からお申し込みをいただきました。

また、開催を強くご希望いただいた地域でも株主の皆さまを対象とした会社説明会を開催しております。このほか、個人株主の方を対象に、当社豊川製作所の工場見学も実施いたしました。

引き続き、IR活動の一環として株主の皆さまとのコミュニケーションをはかる機会を設けてまいります。



株主向け会社説明会(名古屋)



株主向け会社説明会(和歌山)



豊川製作所の見学会

事業継続計画(BCP)

近年、大規模な自然災害が多発しています。当社では、緊急事態に遭遇した際、従業員とその家族、地域社会や取引先に対して何ができるかを考えるとともに、お客さまへの供給責任を果たすため、事業継続計画(BCP)を策定し、防災・減災に向けた活動に継続して取り組んでいます。

また、社員一人ひとりが初期消火や救命救護のスキルを習得するべく、講習会および訓練を繰り返し実施しています。2018年9月に、社員から選抜した70名による初期消火、応急手当、救命救護の競技会を開催しました。そのほか、災害が発生した際、対策本部の運営を行う本部要員へは、いざという時セミプロとして行動できるよう、BCPに基づいた防災訓練を繰り返し行っています。

さらに、南海トラフ巨大地震をはじめ大規模な自然災害を想定し、各職場の改善事例および、実際の災害を体験された方々の意見を集め、減災対策基準書を作成しています。基準書をもとに現地現物で現場確認を行い、改善をすることで各職場の減災能力向上に努めています。



自衛消防隊選抜メンバーによる競技大会



復旧本部立ち上げ訓練

防災訓練の実施回数

2018年度

2回

ESGに関する主要な取り組み (2018年度実績 と 2019年度目標)

○:目標達成 ×:目標未達成

	2018年度 主要な取り組みと目標	2018年度 実績	評価	2019年度 主要な取り組みと目標
E	CO ₂ の排出量(連結) 前年度比1%削減	CO ₂ の排出量 前年度比3.7%増加	×	CO ₂ の排出量(連結) 前年度比3.0%削減
	売上高原単位(連結)の低減	売上高原単位(連結) 1.8%低減	○	売上高原単位(連結) 2.9%低減
	環境に配慮した商品の販売によるCO ₂ の削減量 13,000t/年	環境に配慮した商品の販売によるCO ₂ の削減量 12,013t/年	×	環境に配慮した商品の販売によるCO ₂ の削減量 12,700t/年
S	“新東いものキャンパス®”の開催回数 10回	“新東いものキャンパス®”8回開催 “新東プラスト工房”2回開催	○	“新東いものキャンパス®” “新東プラスト工房”の積極開催
	健康経営優良法人 3年連続認定	健康経営優良法人 3年連続認定を達成	○	健康経営優良法人 4年連続認定
	生活習慣病の重症化予防対策として健康診断結果に基づく有所見者のフォロー率80%以上	有所見者のフォロー実施率 87%	○	女性特有の健康課題に関する勉強会を11拠点で実施
G	個人株主数 2,000人増	個人株主数 2,700人増	○	個人株主向け説明会・機関投資家ミーティング開催数 10回
	個人投資家向け会社説明会の開催数 10回	個人投資家向け会社説明会の開催数 13回	○	スピークアップ制度の改訂・運用開始
	社内コンプライアンス意識調査の回収率 80%	社内コンプライアンス意識調査の回収率 90%	○	コンプライアンステストの実施(5分野)

会社概要

商 号	新東工業株式会社
本 社	名古屋市中村区名駅三丁目28番12号
設 立	1934年(昭和9年)10月2日
代 表 者	取締役社長 永井 淳
資 本 金	57億52百万円 (2019年3月31日現在)
従業員数	単体: 1,685人 連結: 4,089人 (2019年3月31日現在)
子会社 関連会社	62社 (海外含む)

事業概要と主要製品

● 鋳造事業

鋳造プラント、生型造型設備、生型砂処理設備、自硬性設備、Vプロセス設備、アルミ鋳造関連設備、中子造型機、注湯機・溶湯搬送設備

● 表面処理事業

ショットブラスト装置、エアブラスト装置、ショットピーニング装置、投射材、バレル研磨機、ブラシ研磨機、メディア・コンパウンド、耐摩耗部品

● 環境事業

集塵装置、排ガス処理装置、廃水処理装置、ブラスラック

● 特機事業

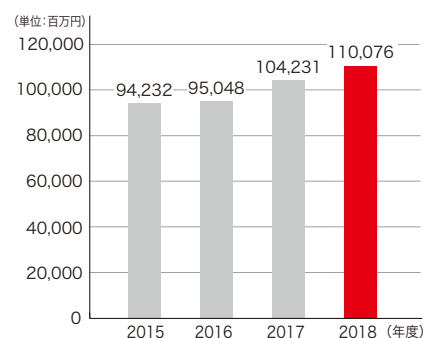
サーボシリンダ、サーボプレス、電気特性検査装置、自動車部品検査装置、混合・分散システム、座標測定機、寸法測定機、混練機、空気輸送装置

● 搬送事業

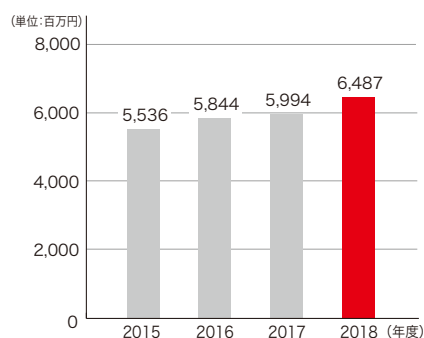
シザーリフト、コンベアシステム、クリーンシステム

連結業績の推移

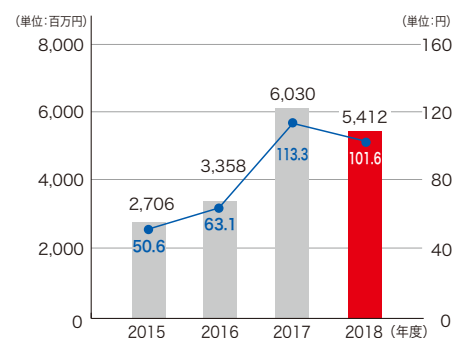
● 売上高



● 経常利益



● 当期純利益 / 1株当たり当期純利益



CSR報告書2019

- 報告期間 2018年4月1日～2019年3月31日
- 報告対象範囲 新東工業グループの全活動
※部分的に新東工業株式会社(本文では「当社」と表記)に限定している場合もあります。
- 発行日 2019年6月21日
※前回2018年6月発行、次回2020年6月発行予定
- お問合せ先 コーポレート部



「Company Song」
新東工業グループ共通の思いを表現し、
企業理念の浸透をはかっています。

新東工業株式会社

〒450-6424 名古屋市中村区名駅三丁目28番12号

Tel 052 582 9211 Fax 052 586 2279

www.sinto.co.jp



この報告書のインキは植物油系溶剤を
使用することで、VOC(揮発性有機化合
物)成分を1%以下に抑えています。

